

鞘膜外捻転と鞘膜内捻転を同時に認め片側精巣を救済しえた
新生児両側精巣捻転の 1 例

桐花 悠介（公立大学法人 福島県立医科大学 医学部泌尿器科学講座）



この度は、第 31 回日本小児泌尿器科学会総会・学術集会において学会賞を賜りまして心より御礼申し上げます。

私が医学部 6 年生の時に行われた第 27 回日本小児泌尿器科学会総会・学術集会が初めて参加させて頂いた学会になります。この学会に参加させて頂き、泌尿器科医になろうと決意したのを今でも鮮明に覚えています。そのような学会で賞を頂くことができ、大変光栄に思います。選考いただいた先生方に厚く御礼申し上げます。

私は現在泌尿器科専攻医として、日々指導を仰ぎながら診療にあたっております。様々な疾患の患者様を診察させて頂き頭を悩ませることもありますが、この多様性こそ泌尿器科の醍醐味だと思い、日々勉強させて頂いております。そのような中で今回発表させて頂いた症例に出会いました。以前より泌尿器科医として小児泌尿器科分野を専攻したいと志しておりましたが、改めてこの分野の難しさ・興味深さを痛感いたしました。

若輩者ではございますが、小児泌尿器科のさらなる発展のため努力精進いたす所存でございます。今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後にこの場をお借りして、いつもご指導いただいている小島祥敬教授ならびに教室の先生方に心から御礼申し上げます。